



令和3年度 三重県障がい者芸術文化祭

文化プログラム事業

三重とこわか国体 三重とこわか大会



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場では作品展示・表彰式を行います。ステージ発表は動画配信となります。なお、会場は来場者把握のため、事前申込み制（予約制）とします。

◆開催日時

令和3年12月3日（金）10時～16時
4日（土）10時～12時

◆会場

津市芸濃総合文化センター
〒514-2211 三重県津市芸濃町椋本6824番地

◆応募資格

三重県内に住所が有る障がいのある方

◆募集内容

作品展（個人作品は各賞を選考）

- ・作品は1人1点（未発表の作品に限る）
絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸（版画・彫刻含む）、貼り絵・デザイン、CG、俳句
- ・作品規格は募集パンフレット参照
- ・特別支援学校コーナー
- ・共同作品コーナー

※とこわか国体、とこわか大会にちなみ、スポーツをモチーフにした作品も大歓迎です。

ステージ発表（グループ）

*WEB開催：三重県障がい者芸術文化活動支援センターのホームページにYouTube動画配信します。

- ・歌唱、楽器演奏、演劇、踊り・ダンス等
- ・グループ出場者の半数以上が障がいのある方
- ・1グループ、10分以内の動画を撮影し提出してください。

◆応募方法

募集パンフレットの応募用紙により、事務局へ郵送、FAXまたはメールにて応募期日内に申し込む。部門別に優秀賞を選定し表彰する。

※応募用紙はホームページからもダウンロードできます。

第35回国民文化祭・みやぎ2020
第20回全国障害者芸術・文化祭みやぎ大会
令和3年7月3日（土）～10月17日（日）
山の幸 海の幸 いざ神話の源流へ

第36回国民文化祭・わかやま2021
第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日（土）～11月21日（日）
山青し 海青し 文化は輝く

◆応募期間（申込書を受け付ける期間）

令和3年9月1日（水）～9月30日（木）（必着）
三重県知事賞、三重県議会議長賞、津市長賞、実行委員長賞、奨励賞、被表彰者には賞品を贈呈する。

◆作品の搬入・搬出

搬入：令和3年12月1日（水）9時30分～16時
搬出：令和3年12月4日（土）13時～17時
新型コロナウイルス感染症対策の3密を避けるため、事務局で搬入・搬出時間を指定させていただきます。当日、搬入・搬出できない方は事務局へお問い合わせ下さい。

※ステージ発表動画は10月30日までに提出

◆事務局（送付先・お問い合わせ先）

三重県障がい者芸術文化活動支援センター内
三重県障がい者芸術文化祭実行委員会
（公益社団法人 三重県障害者団体連合会）
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182
E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp

サブタイトルも同時募集

（障がいの有無は問いません。）

応募資格：三重県内に住所のある方

募集内容：障がい者芸術文化祭を表し、親しみやすい内容で20字以内。自作で未発表のものに限ります。作品募集とは別に1人3点まで応募できます。

応募方法：募集パンフレットの応募用紙、又ははがき等にサブタイトル、住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号等を記入のうえ応募してください。

※選考されたサブタイトルは印刷物や広報媒体等において広く活用する予定です。採用された方は記念品を贈呈します。

令和元年度

輝け みんなの令和 つなげよう みんなの絆

令和2年度

笑顔あふれる未来へ 心動かす芸術の魅力

三重県障害者社会参加推進協議会団体

三重県障害者団体連合会

新型コロナウイルス禍の中、障がい者福祉にご尽力賜り誠にありがとうございます。

昨年、「三重県障がい者芸術文化活動支援センター」が設置され、12月に津市で三重県障がい者芸術文化祭を開催いたします。一部制限を掛けた開催となりますが、数多くの作品出展をお待ちしております。コロナ禍ではありますが、障がい者の芸術文化活動の場を広げていきましょう。

本年5月に障害者差別解消法改正が公布され、事業者に対し社会的障壁の除去の実施に係る必要かつ合理的な配慮の提供が義務化され、差別を解消するための支援措置が強化されました。

また、6月28日にオンラインで開催された日本身体障害者福祉大会の大会宣言では、障害者権利条約の批准により私たちを取り巻く社会環境や障害理解の促進が図られるなか、現状にとどまることなく、さらにもう一步進めていくことが求められるとありました。

障害により分け隔てられることなく、地域社会において安心して暮らせる共生社会の実現をめざし、邁進していきたいと思っております。

当連合会の役員改選では、会長 世古（再任）、副会長 梅谷（再任）、各部会担当常務理事、川北（事務局長）理事数名の体制になりました。よろしくお願い致します。

会長 世古 佳清

事務局 ☎ 059-232-6803 FAX 059-231-7182

三重県視覚障害者協会

本協会は、県内の視覚障害者で構成されており、協会本部事業の予算執行のほか、県の施設である三重県視覚障害者支援センターの指定管理者として、センターの管理運営を行っています。

こうしたセンター事業については、毎年度当初に県と年度協定書を締結して、それに基づき、的確に予算執行しております。令和2年度に設定された12項目の数値目標について、目標内容、目標値、実績値の順に以下のとおり記載しました。

① 図書貸出タイトル数

目標80,000タイトル、実績97,750タイトル

② 生活訓練参加者数

目標500人、実績527人

③ 図書の新規製作編集タイトル数

目標300タイトル、実績372タイトル

④ 図書だより発行回数

目標6回、実績12回

⑤ 点訳奉仕員養成講習（初級）開催日数

目標5日、実績6日

⑥ 点訳奉仕員養成講習（初級）修了者数

目標20人、実績6人

⑦ 点訳奉仕員養成講習（中級）開催日数

目標20日、実績20日

⑧ 音訳奉仕員養成講座開催日数

目標40日、実績40日

⑨ 音訳奉仕員養成講座修了者数

目標20人、実績15人

⑩ 奉仕員スキルアップ講習会出席者数

目標330人、実績154人

⑪ 県政だより点訳版・録音版発行回数

目標12回、実績12回

⑫ みえ県議会だより点訳版・録音版発行回数

目標7回、実績7回

令和3年度からも、こうした評価認識のもとで、センター運営に注力していきますので、センター利用者の皆さんから引き続きサポートもいただきますよう、改めましてよろしくお願い申し上げます。

一方、協会本部事業については、令和3年度の事業計画の中で、以下のような前文を記載しています。

「社会福祉法人三重県視覚障害者協会は、視覚に障害のある人たちの特性や行動を深く理解しており、視覚障害者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的としています。

しかしながら、特に近年は、地域生活における高齢化や障害の重度化や情報通信の高度化などを背景に、会員数の減少や会員であることの意義の低下などが急速に進展しています。

その一方で、中途視覚障害やロービジョンなど、多様な視覚障害の占める割合が年々高くなってきており、視覚障害者ひとりひとりのニーズに的確に対応していく必要性は今までになく高まっています。

こうしたことから、当協会は、これまでの経験を活かすとともに、視覚障害者支援の役割の重要性を再認識し、新たな重要なニーズにもしっかりと対応することが求められています。

こうしたなかで、現行の事業実施を継続していくためには、限られた歳入予算規模を相当超過する歳出予算規模を毎年度、組まざるを得ない状況となっており、財務的な観点からは、適切な組織運営に転換することも必要ではないかとの指摘が少なからずあります。

以上のようなことを踏まえて、中長期的な観点から、次代を担う若い会員のためにも、今後の組織運営について、真摯に検討していくことが求められています。」

こうしたなかで、協会の昨年度からの新たな試みとして、「世界白杖の日」10月15日には、津駅前街頭啓発活動を予定しています。こうしたことも含め、県内視覚障害者を取り巻く新たな社会環境を十分に認識したうえで、協会本部事業を的確に執行してまいります。

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会
三重県視覚障害者支援センター
〒514-0003 津市桜橋二丁目131番地
☎ 059-228-3463

HP <http://www.zc.ztv.ne.jp/mieten/p/>

三重県聴覚障害者協会

三重県聴覚障害者協会は「一般社団法人」として30年目（1991年法人化）を迎え、地域の聴覚障害者当事者団体として運動と事業を担いながらこの1年間活動を推進してきました。去年から新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という）の拡大で社会的、経済的影響が世界に広がり、危機の出口が未だに見えていないため、ろう活動も大きな影響を受けています。

会員数は288名ですが、2019年度の317名より29名減ったことで大きな危機感を感じています。コロナの影響で会員離れが進み、なかでもスポーツ行事（体育大会行事）のために入会している会員が徐々に減少しています。40歳以下の当協会会員は全会員の14%（41名）に過ぎず高齢化が深刻で、次代の主役でもある青年やスポーツ会員の入会が本年度の最大の課題であると考えています。また、年輩の皆さんが豊富な知識や経験を生かし、若者たちの未来のために手話言語に対する興味や知識を高める機会を増やせるよう努めたいと思います。若者たちの会員拡大対策を改革することが、会員減少の歯止めの一つになると考えています。今年度は皆さんの要望について地域協会にも働きかけ、あきらめずに「団結力」の結集を図り、ユニークなイベント企画で個々の交流を促進し、参加者同士の情報共有や、お互いの親睦を深めていきたいと思っています。

感染拡大に伴う外出自粛が長期化し、自宅で過ごす聴覚障害者には情報が十分届かず、人との交流が少なくなりストレスを感じている会員も多いように思います。手話で話せないことでろう者は孤独を感じます。手話のできる（使える）人と会って手話で会話ができることは、私達のコミュニケーションの基本であり、嬉しい気持ちになることでしょう。また、マスク越しの

コミュニケーションは表情が読み取りづらく、感情が伝わりにくいこともあり、相手が分かるようにお互い工夫する必要があります。みえデフBlog（ブログ）で毎週金曜日に動画を2020年5月1日から配信してきました。これは文章の説明では伝わりにくい内容を、みんなが分かるようにと思い始めました。手話言語やイラストを使って配信できるようにし、オリジナリティのある素敵な映像も工夫してまいりました。

2012年に三重県聴覚障害者支援センターを設立して今年で10年目に迎えます。自分らしく生きることを基本とし、聴覚障害者の福祉向上と情報提供、情報保障、コミュニケーションを今後も支援できるよう活動を続けてまいります。

本年度は「三重とこわか国体・大会」が開催されるにあたり、当協会は昨年度情報支援ボランティアの養成を実施しました。コロナの状況が悪化する中、Zoomを使用してのボランティア養成等工夫を凝らし、試行錯誤の末無事に実施できました。三重とこわか国体イメージソング「未来に響け」手話バージョンの動画を発信した影響もあり、「三重とこわか大会」「とこわか」「とこまる」などの手話は、私たちが常にその手話や言葉を見る・聞く・使うことで広まっていくでしょう。お互いに楽しく切磋琢磨し、福祉活性化のモチベーションが高められたら幸いです。

これからも、さまざまな困難があると思いますが、関係団体の皆さまとともに活動していけるよう、ご指導とご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330

E-mail: deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

HP <http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/>

三重県知的障害者育成会

新型コロナウイルスワクチンへの対応

新型コロナウイルス感染症の蔓延は、収束するものと思った人々の期待を裏切って第4波から第5波に突入かという状況に陥っています。

全世界でワクチン接種が進む中、変異ウイルスが複合化しているとの報道もあります。

三重県の感染者の95%が変異株だと報道された時期もありました。

ワクチン接種に対する国の公表を受けて、全国手をつなぐ育成会連合会は、令和3年2月22日付で厚生労働省田村憲久大臣宛に要望書を出すとともに様々な交渉も行い、正会員が地元での折衝をとのメールを受信したことから本会でもわかっているメールアドレス先への要望を発信した結果、新政みえから3

月3日（水）懇談会のご連絡をいただきました。

当日は、県障がい福祉課からもご臨席いただきながら要望や考えられる事態などへの意見交換を行いました。

下記に私たちの上部団体からが発出された厚生労働省への要望書の表題だけご紹介いたします。

全国手をつなぐ育成会連合会要望書

1. 重症化リスクのある基礎疾患を有する人などへの確実な優先接種
2. 障害福祉サービス事業所などにおける集団接種の実施
3. 接種に関する本人意思確認の支援

どの要望書を基に、知的障害者の中には臓器への疾患を抱えている人もいますので、高齢者だけではなく障害者にも視点を向けていただきたいこと。

また、入所支援事業所の利用者は重度・高齢化しているために集団接種にはなじめない人もあり、さらには、親が高齢化している地域生活者もいますので、親が接種に連れていけないことも考えられます。住所のあるところじゃなくて通所系事業所の近くでも接種できるようになれば職員が支援もできるのではないかと。さらに、一般就労している方の中には福祉支援につながらずに生活している方もいるので、取りこぼしのない接種をお願いしたい。

ワクチン接種だけではなく、ご家族やご本人が新型コロナウイルスに感染した時にどう対処していくのかを今のうちに検討しておいてほしい。特に、同居家族が感染した時に被接触者になった知的障害の方をどこでどのように保護していくのか？PCR検査の結果を待たずに即受け入れられなければいけない事態が起きてからでは遅いからとお願いしました。

国では、高齢者の中には当然障害者も入っているといわれたと聞きましたが、それは、すべての障害者のことではなく、上手にすり替えられた『高齢の障害者』のことであったとわかり、急いで上部団体へ連絡をしたところ、疾患のあるという答えができました。それを誰がどう証明するのか心もとない思いでしたが、やっと高齢者の次は入所系利用障害者という言葉が出てきました。

例年の自民党三重県総支部連合会、新政みえ、立憲民主党三重県総支部連合会とコロナ関連を含めた要望について、懇談を持っていただきました。

今後、どう推移していくのか、地域間格差はどうなるのかなど不安材料は消えません。

育成会も、令和2年度の事業が全滅でしたし、令和3年度もどうなるのか???です。

ワクチン接種が浸透して、しっかりと対策をして、

通常の活動が早く出来ることを願っています。

それにしても、基幹障害者相談支援センターの整備がもっと進んでいたら…もっと違った景色が見えていたのかも…

理事長 高鶴かほる

事務局 ☎ 059-225-3930 F AX 059-225-3935

E-mail:oyanokai@eos.ocn.ne.jp

HP <http://www.mie-ikuseikai.sakura.ne.jp>

三重県知的障害者福祉協会

平素は、障害者社会参加促進事業を通じ、当協会の事業・活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年から拡大が続いている新型コロナウイルス感染症は第4波に入ったと言われていています。現下の状況において当協会会員事業所でクラスターが発生し、三重県との応援職員派遣覚書により十数名の職員を当該事業所に派遣いたしました。派遣の中で現場の混乱や厳しさ、感染予防対策はもちろんのこと、感染拡大防止対策の重要性を目の当たりにしてきました。

当協会では派遣での教訓を生かすとともに、クラスターという有事に備え、応援職員の派遣はもとより防護用品等が提供できるようその体制づくりに努めています。

また昨年から、サービス利用者の交流事業や協会内の会議、職員研修等の実施がほとんど叶わず未実施になっています。

こうした状況の中で昨年度後半からはオンラインでの利用者交流、会議、研修などの検討を行い、徐々に従来の活動に戻るようその取り組みを進めています。

いずれにしても利用者の方々への命と健康を守り、安心のある日常を取り戻すために協会会員をはじめ行政機関や関係団体の皆さんと連携を図りながら共にこの状況を乗り越えていきたいと考えております。

引き続き皆様のご指導、ご支援を宜しくお願いいたします。

会長 近藤 忠彦

事務局 ☎ 059-268-1115 (まもり苑・本弘)

三重県精神保健福祉会

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止への対応のため、3密の回避を余儀なくされ、様々な行事が延期・中止となりました。

さんかれん（三重県精神保健福祉会）も桑名保健所圏域で計画していた精神保健福祉研修会も延期となりました。早くから実行委員会を立ち上げ地域の

皆様にご協力いただいたのに残念です。また、県庁における就労支援モデル事業も中止となりました。

令和3年度は、さんかれんの事業として

- ①精神保健福祉研修会で、多くの地域の皆さんへ精神障がいに対する正しい知識の普及を図るとともに、精神障がいを持つ当事者・家族の方と交流する機会を設けることで、当事者の方々の持っている魅力やパワーを肌で感じていただくことを目的に予定しております。
- ②住居サポート事業の活動を積極的に行い、住宅保証人受託増により精神障がい者の生活の質向上に貢献しています。また、家族による家族相談、家族同士のサロンによって家族が元気に当事者を見守り支えることができ、当事者支援の一助としております。
- ③啓発広報資料「あゆみ」の配布によって、地道な家族会活動の周知を図るとともに、広く県民の多くの目に触れ、「精神障がい」について「知っていただく」ことを取り組みます。
- ④県庁における就労支援モデル事業を予定しています。等を実施することで精神障がい者に対する誤解・偏見および三障害間の格差の是正に積極的に取り組みます。精神障害者が、地域で安全で安心し社会参加できる環境の促進を図るうえで精神障害者に対する交通運賃を身体障害者、知的障害者と同様に割引制度の適用対象にすることを東海地区家族会連合会と協力しJR等へ要望活動を継続していきます。

医療費については、三重県の近隣県においては、身体障害・知的障害と同等の助成を受けておりますが、三重県の医療費助成は1級の通院のみで他県に比して遅れており、2級の医療費助成については各市町が夫々の立場で実施していただいておりますが三重県29市町中7市町においての助成に留まっています。県への要望に合わせ、各市町の家族会及び家族と協力し県内全域での助成を求める活動を進めます。

NPO法人 三重県精神保健福祉会（さんかれん）
事務局 ☎・FAX 059-271-5808
E-mail:sankaren@mint.or.jp

三重喉友会

当会は創立66年目になり、現在会員数は70名です。喉頭や食道の摘出手術を受け、発声機能を失った方々のための患者会です。発声教室で訓練をして日常会話が出来ようになり、社会や職場に早く復帰されることが目的です。

この他、健康相談や親睦の場としても活発な活動をしています。このような患者会は全国にあって、

NPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報を交換しながら協力しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により各病院での発声教室は休止となっています。新規の教室として県身体障害者総合福祉センターで土曜日（利用可能時月2回）で開校しています。早く感染拡大が収束して、各病院とも利用可能になり、例年のように活発な活動が出来るように全会員が願っています。

◆発声教室

毎月県内の病院で開催しています。

- ・北勢地区 市立四日市病院1階 11会議室
第一水曜日 13時～15時
- ・中勢地区 三重大学附属病院南館12階
三医会ホール
第三木曜日 10時～12時
三重県身体障害者総合福祉センター
研修室（利用可能時）
土曜日（毎月2回） 14時～
- ・南勢地区 伊勢赤十字病院1階 山田ホール
第二木曜日 10時～12時
- ・東紀州地区（偶数月）
尾鷲総合病院1階 母親教室
第四木曜日 10時30分～12時
- ・会員の方は自由にお近くの教室に参加して下さい。

◆研修会

- ・発声指導員養成のための研修会が、毎年三日間行われ一般会員の方も参加できます。
- ・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

◆総会（発声教室、研修会）今年中止になりました。毎年春に三重大学附属病院で開催されます。発声訓練の成果として「発声コンクール」を行います。

◆一泊研修旅行 今年中止になりました。

先輩からの手術後の体験談や、会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。

会員による発声コンクール（カラオケ大会）を行います。

◆出前授業

三重県教育委員会からの要請で県内の小・中・高等学校の生徒対象に「がん教育」として三重県内の病院の教授、医師と共にかん体験者としての講演をしています。

◆三重県がん相談支援

三重県がん相談支援事業の一環として、三重喉友会もがん患者団体としてサポーター協力しています。

事務局 ☎・FAX 059-261-5257（塚本明雄）
Eメール aki0350@zb.ztv.ne.jp

日本オストミー協会三重県支部

日頃はオストメイトの福祉向上にご支援・ご協力を戴き有難うございます。

令和2年度は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大のため、計画したすべての行事を中止せざるを得ませんでした。

今年度も次のような行事を予定していますが、COVID-19の変異種を含めた感染拡大で困難な状況に直面しています。今後の感染状況を注視して開催の可否を決定していきます。開催の場合は、その都度開催案内等でお知らせします。

「三密」防止を実践してCOVID-19を予防するとともに、暑さによるストーマ周囲の炎症等ストーマケアに充分にご注意願います。また、近くの公園や緑豊かな散歩道、または、風さわやかな浜辺の散策等で体力を維持して病魔への耐性を保っていただくようお願いいたします。

【令和3年度の支部行事】

- ・ 5月 「支部総会・春の研修会」 …中止
- ・ 7月 「一泊研修会」 …中止
- ・ 10月 「秋の研修会」 会場：アスト津 13時～
…感染状況、ワクチン接種状況を勘案して開催可否検討。
- ・ 11月 「一泊研修会」 会場：鳥羽市内ホテル
…感染状況、ワクチン接種状況を勘案して開催可否検討。
- ・ 令和4年3月 「新入会員研修会」
会場：アスト津 13時～
…新入会員の有無、COVID-19感染状況を勘案して開催可否を決定。

中止した行事の代替え行事等の実施の可否も検討していきます。

オストメイトは、ご家族のご協力があって初めて快適なストーマ生活が過ごせます。研修会等の行事にご家族でのご参加を歓迎いたします。

※注 (1)オストメイト…ストーマを造設した人のことを言います。

(2)ストーマ…腹部に造設した人工肛門・膀胱のことを言います。

支部長 ☎ 059-346-2589（溝川紳一）
事務局 ☎ 059-226-5201（在間敏明）



三重県肢体不自由児(者)父母の会連合会

◎令和2年度主な事業実績

コロナ禍で全体行事が不可のため、支部単位で実施。

①さわやかレク：クリスマス交流会

- ・ 12月12日（土）松阪支部
- ・ 12月24日（木）四日市支部

②障がい者施設との交流会

- ・ 2月22日（月）伊勢支部
- ・ 3月2日（火）四日市支部
- ・ 備蓄食の試食とゲーム

③東海北陸ブロック指導者育成セミナー、会長会議

- ・ 10月31日（土）～11月1日（日）金沢市

◎令和3年度主な事業計画

(1) 県肢連福祉研修大会及び療育キャンプ

- ・ 期 日：コロナウイルス感染拡大防止のため未定
- ・ 場 所：鳥羽市内
- ・ テーマ：「大規模災害時の対応（福島に学ぶ）」

(2) 障がい者社会参加促進事業

- ・ 期 日：10月31日（日）
- ・ 場 所：愛知県

☆コロナウイルス感染拡大防止のため、全国的に殆どの事業計画が中止決定されました。やむなく、各支部毎に少人数で交流会などを実施しました。幸い利用している生活介護事業施設などに感染がなく、通常通り登所でき、保護者や子供達にとって良かったです。

今年度もコロナ禍にあって、計画した事業の実施が不透明ですが、コロナワクチン接種により早々に終息することを祈念しています。

◇当会の活動等、詳しく知りたい方は下記へ

県肢連会長 鈴木錠平 ☎・Fax 059-333-0005



三重県重症心身障がい児(者)を守る会

季節は早くも六月に入り、コロナウイルス蔓延はワクチン接種によりようやく先が見えてまいりました。あっというまの一年半でしたが、もう少しで正常に戻ると、希望的に思っています。

施設入所の子供達への面会も制限され、月2回約15分程度の窓越し面会も一年半と続いており、この状態がいつ解放されるか、ワクチン接種待ちです。

さて、私達三重県守る会会員活動はストップして例外なく自宅でじっとしており、たまのスーパーでの日用品買い物も消毒、会話、密に注意しながら過ごしておりますが、守る会本部では、こんな状況にかかわらず、厚労省、文科省、国交省に障がい者施

策に於ける提言、要望を行っております。特に厚労省に於いては審議委員が入っており、予算等の審議にも関わりを持っています。守る会の歴史は半世紀にも及び幾多の諸先輩が障がいを持った自分の子供の為立ち上がり、世の中にそして時の政府に障がいを持った子供が居ることを訴えて来ましたが、それでも未だに残っております。

障がい児者は、どんなに医療が発達しても必ず生まれて来ます。その子達の為にも世の中と政府に対し訴えて行かなければならないと守る会は考えています。「最も弱いものをひとりももれなく守る」が私達守る会の原則です。

この運動を頑張ってきた親御さんも高齢になりました。若い人も徐々に育ってきましたが、まだまだ会員数が足りません。皆さんにもご協力お願いします。

会長 ☎・FAX 0596-23-0216 (山本静雄)

三重県身体障害者総合福祉センター

令和3年度からの指定管理者に選定していただき、向こう5年間も引き続き「障害者支援施設」と「身体障害者福祉センターA型」の運営をさせていただくことになりました。

障害者支援施設としては、脳血管障がいや交通事故などで肢体不自由や高次脳機能障がいのある方に対して自立に向けた入所・通所による支援を実施し、これまで多くの方々が単身生活や就労などの地域生活に移行されています。また、相談窓口として高次脳機能障がいの方への相談支援を行っています。

福祉の現場もコロナ禍の影響を大きく受け、関係機関との連携に制限が生じる一方で、WEB会議やWEB面接といったICTを利用した新しい取り組みも始まっています。

身体障害者福祉センターA型としては、各種相談の実施、介護保険・医療保険によるリハビリテーションの実施、障がい者スポーツの推進などを行っています。今年度は、第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」の開催年です！県より事業を受託し、選手団派遣などを行っています。選手育成、団体競技の強化、指導員・競技役員等の養成についても継続して行っています。行事やイベントがコロナ禍により中止や延期になることもありますが、三重県指針や各競技団体において作成したガイドラインに沿って感染症対策を行いながら運営を行っています。

※団体競技の車いすバスケットボール、グランドソフトボール、聴覚障がい者バレーボール男女、知的

障がい者ソフトボール、知的障がい者フットベースボール、知的障がい者バスケットボール男女、知的障がい者バレーボール男女、精神障がい者バレーボールの選手を募集しています。未経験の方も歓迎していますので、スポーツを始めたい方、仲間作りをしたい方は、ぜひお問い合わせください。

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター
☎ 059-231-0155 FAX 059-231-0356
HP <http://www.mie-reha.jp/>

三重難病連

三重難病連は現在21(2団体活動休止)の当事者団体が構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。

今年も新型コロナウイルスの収束がみえない状況ではありますが、感染対策をしっかりと行い活動を行っていきたく思いますのでよろしく願いいたします。

○疾患別相談(毎週火・木曜10時~16時)

三重難病に加盟している団体の相談員が療養相談や生活相談をお受けします。同じ病気の方々の悩みや、様々な問題について同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。疾患によって担当日が決まっておりますので、詳しくは下記の三重県難病相談支援センターへお電話でお問い合わせ、またはホームページでご確認下さい。

○地域難病相談会(時間は全て13時~15時)

地域の医師会やハローワーク、患者会、保健所と協力して、生活相談や医療相談、就労相談等をお受けします。参加無料、事前申し込みは不要です。

※新型コロナウイルスの状況によっては変更や中止をさせていただきますので三重県難病相談支援センターまでお問い合わせください。

7月4日(日) 津地域難病相談会 三重県津庁舎

9月5日(日) 四日市地域難病相談会
四日市市文化会館

10月10日(日) 伊勢地域難病相談会
三重県伊勢庁舎

11月7日(日) 尾鷲地域難病相談会
三重県尾鷲庁舎

○就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。また、毎月第4水曜10時~16時には、ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談・支援も実施しています。(☎ 059-223-5045)

○小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関するの困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。

(☎ 059-223-5046)

【三重県難病相談支援センター】☎ 059-223-5035

<http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

三重県立特別支援学校長会

平素は本県の特別支援学校の教育活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特別支援学校も臨時休業から始まり、学校行事等の中止・延期・内容変更と感染防止対策に追われた一年でした。今年度も新型コロナウイルスと向き合う生活が継続しており、先行きの予測が非常に困難な状況と言えます。そのため、特別支援学校における教育活動・学校行事等は昨年度と同様、感染状況に応じた対応が余儀なくされています。新しい生活様式を踏まえ、3密防止・マスク着用・ソーシャルディスタンス・手洗い・消毒・換気の徹底がなされた学校生活となっています。

また、GIGAスクール構想の実現、コロナ禍での教育の充実に向け、ICTの環境整備が急ピッチで進められ、1人1台端末とネットワークの整備がなされました。これにより、コロナ禍対応だけでなく、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指した教育実践に拍車がかかることになると考えます。

令和2年3月ではありますが、三重の教育の目指す姿とその実現に向けた取組内容および目標を示す中期計画である「三重県教育ビジョン」（三重県・三重県教育委員会）、本県の特別支援教育の具体的な方向性を示した「三重県特別支援教育推進基本計画」（三重県教育委員会）が策定されました。どちらの計画も令和5年度までが計画期間となっています。「三重県教育ビジョン」では「一人ひとりの学びを支える教育の推進」「特別支援学校における自立と社会参画に向けた教育の推進」が施策として挙げられ、「三重県特別支援教育推進基本計画」においては「切れ目ない支援体制の充実」「小中学校における特別支援教育の推進」「高等学校における特別支援教育の推進」「特別支援学校における教育の推進」「教員の専門性の向上」「特別支援学校の整備」の6項目が示されており、それぞれの項目で現状と課題、今後の取組内容が示されています。

特別支援学校長会としましては、上記計画に則り、

各関係団体・機関との連携協力のもと、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学び、希望する進路等の実現、地域の中で豊かに自分らしく生活していくことを目指した取り組みを推進してまいります。

今後ともご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県立特別支援学校西日野にじ学園

☎ 059-322-2558（坂本 学）

三重県ボランティア連絡協議会

平素は県ボランティア連絡協議会の活動にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、県民、事業者ともに感染のリスクの高まる活動は控えて、会議等もオンラインでの開催となりました。

総合研修会も各市町の社協さんのご協力をいただき、開催会場の県社会福祉会館とサテライト会場を結んで開催しました。たくさんの方に遠隔で参加をいただきましたが、やはりいつもの開催とは違って、少々寂しい気持ちが残りました。

今年も半年済んでしまいましたが、ワクチン接種も始まり何かしらトンネルの出口がうっすらと明るく感じられる今日この頃です。皆さんとマスクを外してお会い出来る日が1日も早く訪れる事を願わずにはいられません。

令和3年度の総合研修会は、いなべ市ボランティア連絡協議会の設立記念もありまして、いなべ市で開催させていただく予定です。

今後共、よろしくお願い致します。

会長 川瀬みち代

事務局：三重県ボランティアセンター

☎ 059-229-6634

独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

三重障害者職業センター

- ①一般企業で働くことを希望する障害のある方に対して、ハローワークや関係機関と連携し、就職への準備を整えるための相談・職業準備支援、就職した職場に適応するためのジョブコーチ支援、休職している方の職場復帰のための支援などの各種支援を行っています。
- ②事業主の方に対して、障害者雇用の進め方や雇用管理に関する相談・支援を行っています。

③障害のある方の就労支援を行っている関係機関の方に対して、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問い合わせ】津市島崎町327-1（ハローワーク津 3階）
☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707

高齢・障害者業務課

①事業主の方に対しては、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告申請書・調整金支給申請書等の受付や相談を行っています。

②障害者雇用への理解を広げるため三重県・三重労働局の共催のもと「三重県障害者技能競技大会（アビリンピックみえ）」を開催しています。

※ポリテクセンター三重（四日市市西日野町4691）にて6月に開催。次年度の開催予定が決まりましたらHPにてお知らせいたします。

【お問い合わせ】津市島崎町327-1（ハローワーク津2階）
☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270

三重補助犬普及協会

令和3年度の啓発活動の予定

障害者が身体障害者補助犬を使用して自らのQOLの改善と社会参加を向上させるためにはそれを受け入れる社会の理解と協力が必要です。本協会は補助犬使用者への支援と社会への啓発活動を行っています。本年度もコロナ対策を取りながら以下の活動を行います。

○介助犬を中心とする啓発活動

イオン津ショッピングセンター（8月）

○補助犬全般の啓発活動

障害者芸術文化祭会場にて（津市 12月）

○盲導犬啓発活動・体験歩行 視覚障害者補装具日常生活用具展示会会場にて

（津市 令和4年1月）

○補助犬普及のための街頭啓発活動

（伊勢神宮内宮前 令和4年1月）

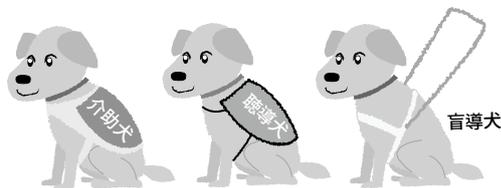
○小・中学校等での盲導犬出前トーク活動（随時）

*なお、啓発活動を支援していただくサポーターを募っています。

【お問い合わせ先】

協会事務局 ☎ 059-222-8419

E-mail: mie-hojoyoken@pasoya.jp



「交通安全の保持に関する条例」を全面改正し、
三重県交通安全条例が制定されました。
(令和3年3月23日公布)



市町別手帳交付者数

(令和3年4月1日現在)

(単位：人)

市町名	身障手帳	療育手帳	精神保健福祉手帳	市町名	身障手帳	療育手帳	精神保健福祉手帳
桑名市	4,402	1,147	1,493	伊勢市	5,071	972	951
いなべ市	1,592	394	277	鳥羽市	1,094	182	120
東員町	895	163	149	志摩市	2,389	371	410
木曽岬町	212	49	42	玉城町	627	144	68
四日市市	9,957	2,545	2,784	度会町	375	63	42
川越町	354	102	114	大紀町	514	74	60
朝日町	237	67	66	南伊勢町	1,017	139	77
菰野町	1,357	380	273	伊賀市	4,355	876	737
鈴鹿市	6,874	1,780	1,512	名張市	3,388	792	866
亀山市	1,832	400	333	熊野市	960	210	158
津市	10,781	2,519	2,764	尾鷲市	1,098	166	115
松阪市	6,421	1,428	1,365	紀北町	854	171	91
多気町	572	147	77	御浜町	391	88	49
大台町	437	90	42	紀宝町	490	95	72
明和町	949	184	133	その他	265	0	0
				県合計	69,760	15,738	15,240

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
(お問い合わせ) 電話 (フリーダイヤル)

0120-263-323

＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊・＊ あなたも参加しませんか

※新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、日程及び会場の変更、中止になる場合があります。

障がい者の社会参加を促進する各種事業を開催しています。

月別	開催日	行 事	会 場
9月	5日(日)～6日(月)	三重県障がい者ふれあい交流会	【サンペルラ志摩】
	11日(土)	身体障がい者交流レクリエーション ボウリング教室	【津グラウンドボウル】
	26日(日)	障害者自動車安全運転競技会	【三重中央自動車学校】
10月	30日(土)	身体障がい者カローリング教室	【三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿スポーツガーデン体育館】
11月	25日(木)	三重県身体障害者福祉大会	【四日市市文化会館 第2ホール】
12月	3日(金)～4日(土)	三重県障がい者芸術文化祭	【津市芸濃総合文化センター】
その他	10月、2月(第4日曜日)	未婚障がい者出逢い支援事業(結婚相談)	【三重県身体障害者総合福祉センター】

(注) 参加を希望される場合は、詳細について下記の連絡先までお電話ください。

開催日の1ヶ月前までに申し込んでください。(事前申込が必要です。)

【事務局】公益社団法人三重県障害者団体連合会 〒514-0113 津市一身田大古曾 670-2

TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182 E-mail:suishin.c@mie-kensinren.or.jp



▶▶▶▶▶ 令和3年度障がい者社会参加促進等事業 ◀◀◀◀◀

○三重県障害者社会参加推進センター 委託事業

団体名	事業名
障害者団体連合会	障がい者相談員等研修
	身体障害者補助犬育成等事業
	声の「ふれあい」発行事業
	身体障がい者交流レクリエーション教室
	カローリング教室
	ボウリング教室
	グラウンドゴルフ教室
	未婚障がい者出逢い支援事業
視覚障害者協会	視覚障がい者交流レクリエーション教室
	グラウンドゴルフ教室
	ボウリング教室

団体名	事業名
視覚障害者協会	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
	フロアバレーボール東海ブロック大会
聴覚障害者協会	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業
	東海聴覚障害者体育大会
	全国ろうあ者体育大会
日本オストミー協会三重県支部	オストメイト社会適応訓練事業
肢体不自由児(者)父母の会	肢体不自由児(者)体験学習交流会開催事業
喉友会	音声機能障がい者発声訓練事業
	音声機能障がい者発声訓練指導者養成事業

団体名	事業名
知的障害者育成会	知的障がい者交流レクリエーション事業
精神保健福祉会	精神障がい者理解促進啓発事業
難病連	難病による障がい者理解促進事業

○三重県障がい者芸術文化活動支援センター委託事業

団体名	事業名
障害者団体連合会	障がい者芸術文化活動普及支援事業



三重県障がい者相談員等 研修会開催

日 時 令和3年9月8日(水)
受付13時～ 開会13時15分 閉会16時
会 場 三重県人権センター 多目的ホール
〒514-0113 津市一身田大古曾 693-1

参加者

- ①身体・知的・精神障がい者相談員
- ②県、市町、社会福祉協議会等の相談業務担当者等
- ③各市町障害者団体の長、保護者、家族会等の長
- ④障がい者、支援者等

参加人員 100名程度

参加申込

参加申込書に必要事項を記入のうえ事務局へ直接郵送
又はFAX送信

申込期限 令和3年8月20日(金) 期限厳守

研修内容 内容は未定(後日、開催案内でお知らせします。)

(10)

第67回三重県身体障害者福祉大会

日 時 令和3年11月25日(木)(受付9時30分から)
式典 10時30分～11時30分
郷土芸能 11時30分～12時00分
会 場 四日市市文化会館 第2ホール
〒510-0075 四日市市安島2丁目5-3

第24回日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会

日 時 令和3年11月4日(木)～5日(金)
14時開会(受付13時から)
会 場 黒部市宇奈月国際会館「セレネ」
富山県黒部市宇奈月温泉6-3



三重とてわか国体
第76回国民体育大会 2021年9月25日(土)～10月5日(火)
ときめいて人 かがやいて未来 2021
三重とてわか大会
第21回全国障害者スポーツ大会 2021年10月23日(土)～10月25日(月)

